



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社エヌジェイホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9421 URL <https://www.njhd.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 尚弘
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 野澤 創一 TEL 03-5418-8128
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	2,500	18.0	18	—	13	—	4	—
2025年6月期第1四半期	2,119	△23.4	△36	—	△43	—	△16	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 6百万円 (—%) 2025年6月期第1四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	0.78	—
2025年6月期第1四半期	△3.13	—

(注) 1. 2025年6月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2026年6月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	3,744	1,709	43.2
2025年6月期	3,749	1,713	43.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 1,616百万円 2025年6月期 1,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2026年6月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,910	8.8	150	193.5	130	311.2	110	245.4	20.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期1Q	5,350,400株	2025年6月期	5,350,400株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	57,616株	2025年6月期	57,616株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期1Q	5,292,784株	2025年6月期1Q	5,292,850株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算説明資料は、2025年11月7日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の継続による消費者マインドへの影響やアメリカの通商政策などによる影響が下振れリスクとして見られるものの、緩やかに回復しております。

ゲーム業界におきましては、モバイルゲーム市場は、巣篭もり需要後の下げ止まり以降、概ね同じ市場規模を維持しております。各種IPによる新作がリリースされ、ファンベースを土台として幅広く人気を博しております。コンシューマー市場では、新型ハードの発売とともに多くの新作タイトルが発売・発表され、活性化しております。また、クロスプラットフォーム展開において、PC向けプラットフォームを通じて提供されるゲームが増加しており、PCゲーム市場が拡大しております。

モバイル業界におきましては、出荷台数の回復傾向が継続しております。主要メーカーによる機能や価格帯を差別化したラインアップの投入により、買い換え動機の喚起に繋がっております。また、5G通信や衛星通信を用いたサービスなども新たな体験への期待を高めております。

このような事業環境のなか、当社は、ゲーム事業におきましては、企画提案の強化と開発プロジェクトの品質確保に取り組んでまいりました。モバイル事業におきましては、イベント実施による販売強化と店舗ビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、ゲーム事業においては、ゲーム運営フェーズにおける海外対応業務の受注拡大により、増収となりました。モバイル事業においては、主に前期に新規出店した店舗の収益寄与により、増収となりました。この結果、売上高は、2,500百万円と前年同期と比べ381百万円(18.0%増)の増収となりました。

営業損益及び経常損益は、ゲーム事業におきましては、開発プロジェクトにおいて外注費の発生時期の計画ずれ等により原価が増加したものの、ゲーム運営フェーズにおける海外対応業務の拡大が寄与し、増益となりました。モバイル事業におきましては、主に前期に新規出店した店舗の利益寄与に加え、既存店の販売も堅調に推移したことにより、増益となりました。この結果、営業損益は、18百万円の営業利益(前年同期は36百万円の営業損失)となり、経常損益は、13百万円の経常利益(前年同期は43百万円の経常損失)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前期同期は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)ゲームスタジオ、(株)トライエース、(株)ウィットワン、(株)ウィットワン沖縄及び(株)テックフラッグにてゲームの開発受託及び運営受託等を行っております。

売上高については、ゲーム運営フェーズにおける海外対応業務の受注拡大により、1,828百万円と前期と比べ213百万円(13.2%増)の増収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、開発プロジェクトにおいて原価が増加したものの、ゲーム運営フェーズにおける海外対応業務の拡大が寄与し、64百万円のセグメント利益(営業利益)と前年同期と比べ28百万円(79.6%増)の増益となりました。

② モバイル事業

当セグメントにおきましては、(株)ネプロクリエイトにてauショップ等のキャリアショップ及び複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)等の店舗を運営しております。

売上高については、主に前期に新規出店した店舗の収益寄与により、655百万円と前年同期と比べ165百万円(33.7%増)の増収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、主に前期に新規出店した店舗の利益寄与に加え、既存店の販売も堅調に推移したことにより、25百万円と前年同期と比べ18百万円(258.8%増)の増益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、クレジット決済事業等を行っております。

売上高については、16百万円と前年同期と比べ1百万円(5.7%減)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)については、6百万円と前年同期と比べ0百万円(8.7%減)の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の総資産は3,744百万円となり、前連結会計年度末と比べ4百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の増加91百万円、売掛金及び契約資産の減少72百万円、のれんの減少21百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は2,035百万円となり、前連結会計年度末と比べ0百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金の増加26百万円、未払法人税等の減少27百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は1,709百万円となり、前連結会計年度末と比べ4百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円、非支配株主持分の減少8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、ゲーム事業においては、開発分野では外注費原価の発生時期の計画ずれ等により収益性が低下しており、この傾向は第2四半期も続く見込みですが、下期以降において正常化を目指しております。一方で、ゲーム運営サポート分野での海外対応業務の受注が拡大しており、計画を上回って推移しております。この結果、ゲーム事業全体としては、上記収益性低下をカバーして当初予想並みのセグメント利益になるものと見込んでおります。モバイル事業においては、前年比をやや上回る堅調な販売が続いていることから、当初計画どおり推移するものと見込んでおります。

当連結会計年度（2026年6月期）における通期の業績見通しにつきましては、2025年8月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,914	943,605
売掛金及び契約資産	1,359,557	1,287,403
商品	174,365	162,390
仕掛品	27,410	17,701
貯蔵品	1,431	1,214
その他	188,805	195,590
流動資産合計	2,603,485	2,607,905
固定資産		
有形固定資産	86,957	87,543
無形固定資産		
のれん	271,317	250,056
その他	113,545	118,237
無形固定資産合計	384,863	368,293
投資その他の資産		
差入保証金	349,380	348,672
その他	391,171	398,729
貸倒引当金	△66,524	△66,524
投資その他の資産合計	674,027	680,877
固定資産合計	1,145,848	1,136,714
資産合計	3,749,334	3,744,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	311,833	338,388
短期借入金	525,250	725,250
1年内返済予定の長期借入金	316,000	116,000
未払法人税等	38,755	11,724
賞与引当金	25,644	13,883
その他	434,640	483,911
流動負債合計	1,652,123	1,689,158
固定負債		
長期借入金	111,000	82,000
退職給付に係る負債	161,667	161,238
その他	110,994	102,845
固定負債合計	383,662	346,084
負債合計	2,035,785	2,035,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	350,290	350,290
利益剰余金	728,143	732,274
自己株式	△59,146	△59,146
株主資本合計	1,612,132	1,616,263
新株予約権	34	34
非支配株主持分	101,381	93,079
純資産合計	1,713,548	1,709,377
負債純資産合計	3,749,334	3,744,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,119,696	2,500,705
売上原価	1,721,641	1,999,420
売上総利益	398,055	501,284
販売費及び一般管理費	434,481	483,048
営業利益又は営業損失(△)	△36,426	18,236
営業外収益		
受取利息	145	957
不動産賃貸料	1,329	1,639
その他	311	369
営業外収益合計	1,786	2,966
営業外費用		
支払利息	4,138	4,614
支払手数料	2,028	2,559
その他	2,613	1,001
営業外費用合計	8,780	8,175
経常利益又は経常損失(△)	△43,420	13,027
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,420	13,027
法人税等	△27,404	6,639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,015	6,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	540	2,256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,555	4,131

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,015	6,387
四半期包括利益	△16,015	6,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,555	4,131
非支配株主に係る四半期包括利益	540	2,256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	23,522千円	13,417千円
のれんの償却額	20,033 "	21,260 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	1,301,736	490,220	1,791,957	17,602	1,809,559
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	310,137	—	310,137	—	310,137
顧客との契約から生じる収益	1,611,873	490,220	2,102,094	17,602	2,119,696
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,611,873	490,220	2,102,094	17,602	2,119,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,084	3	3,088	—	3,088
計	1,614,958	490,223	2,105,182	17,602	2,122,784
セグメント利益	35,810	7,073	42,883	7,436	50,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等でありま
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	42,883
「その他」の区分の利益	7,436
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△20,033
全社費用(注)	△66,712
四半期連結損益計算書の営業損失	△36,426

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	1,765,633	655,420	2,421,054	16,592	2,437,646
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	63,058	—	63,058	—	63,058
顧客との契約から生じる収益	1,828,692	655,420	2,484,112	16,592	2,500,705
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,828,692	655,420	2,484,112	16,592	2,500,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,828,692	655,420	2,484,112	16,592	2,500,705
セグメント利益	64,319	25,379	89,698	6,791	96,490

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等でありま
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	89,698
「その他」の区分の利益	6,791
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△21,260
全社費用(注)	△56,993
四半期連結損益計算書の営業利益	18,236

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。